

「環境学習のための展示物ワークショップ」へのご案内

(このワークショップは「環境学習のための展示物展」の期間中に実施します)

環境学習施設ネットワーク

[] 背景と目的

環境学習施設の現状及び課題

環境基本法で示された環境教育・環境学習の方針を受けて、2003年には「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」が制定され、環境学習施設（環境学習を推進するための環境学習の拠点）の重要性が増してきています。

環境学習施設の多くは1990年以降、自治体等によって整備されてきましたが、財政的・人的な制約が多く、ノウハウ不足等の課題を抱えている施設も多いのが現状と言えます。

このため、展示物の更新が思うようにできなかつたり、慢性的な人材に不足等のため、集客力が弱まり、施設の活動がさらに低迷するという悪循環となります。また、環境学習施設相互の連携を図る仕組みがないため、優れた取組等があっても、十分な情報やノウハウの共有ができないのが現状となっています。

課題解決の方法として

こうした現状を踏まえて、環境学習施設ネットワークは、環境学習施設同士が連携し、運営ノウハウの共有や展示物の共有等を図ることが課題解決の鍵として提案しています。

そこで、本年度は、既存の展示品を集めた展示会（「環境学習のための展示物展」）を実施し、これと平行して独自に良い展示を検討するための検討会（「環境学習のための展示物ワークショップ」）開催することにしました。こうした取り組みをとおして、多くの施設で利用してもらえるような展示物を共同で開発することとしています。

[] 環境学習のための展示物ワークショップ

ワークショップ開催の目的

環境学習施設ネットワークが主催する「環境学習のための展示物展」（10月5日から11日まで）に出展された展示物を検討し、来場者に気づきや学習に効果的な展示物の要素を検討します。さらに、多くの施設で利用してもらえる展示物を共同で開発するため、熱意のある環境学習施設の担当者や自治体職員により、どのような展示物が必要かを検討します。

「環境学習のための展示物制作研究会」へシフト

ワークショップで検討された内容は「環境学習のための展示物制作研究会」に引継がれます。研究会では施設担当者、自治体職員の外に、制作実務者や専門家などの意見を取り

入れ、年度内を目途に具体的な仕様を検討します。

ワークショップ参加者募集

展示物開発に興味のある方、施設運営等の情報共有を図りたいと思う方の参加を募ります。募集の要項については以下の通り。

ワークショップ参加者募集要項	
対 象	(1)環境学習施設の運営に携わっている方 (2)自治体職員で環境学習施設を担当している方 (3) 環境学習施設・展示物の研究者、制作者、など
日 程	平成 19 年 10 月 9 日(火) 時間 午後 1 時から 4 時まで
場 所	科学技術館 / 東京・千代田区北の丸公園内
定 員	20 名程度 / 定員になり次第締切ります。
参 加 費	科学技術館への入場料として 6 0 0 円 (科学技術館の展示の見学も自由にできます)
そ の 他	ワークショップ参加だけでなく、「環境学習のための展示物制作研究会」のメンバーとして参加希望の方は、申込みの際にその旨お申し付け下さい。

なお、9月14日には、東京ガス「環境エネルギー館」の見学会を兼ねた、準備会を開催いたします。詳しくは、別紙案内をご覧ください。

【問合せ・申込み先】

環境学習施設ネットワーク事務局

碓 康雄、佐久間信一

ダイナックス都市環境研究所

TEL 03-3580-8221

FAX 03-3580-8265

MAIL info@elcnet.org

URL <http://www.elcnet.org>

本事業は、独立行政法人環境再生保全機構の地球環境基金の助成事業として実施しています。昨年度は全国の環境学習施設の現状把握を行い、今年度は、その結果を踏まえて具体的な展示品の開発を行い、来年度は環境学習施設でのモデル実施を予定しています。

この「案内」は昨年、当会と環境省が合同で実施した「環境学習施設の現状と課題」のアンケートにて、『展示物の共同開発』に意欲のあると思われる自治体、及び施設にご案内しております。